

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(7月ECB＜欧州中央銀行＞理事会)

2018/7/27

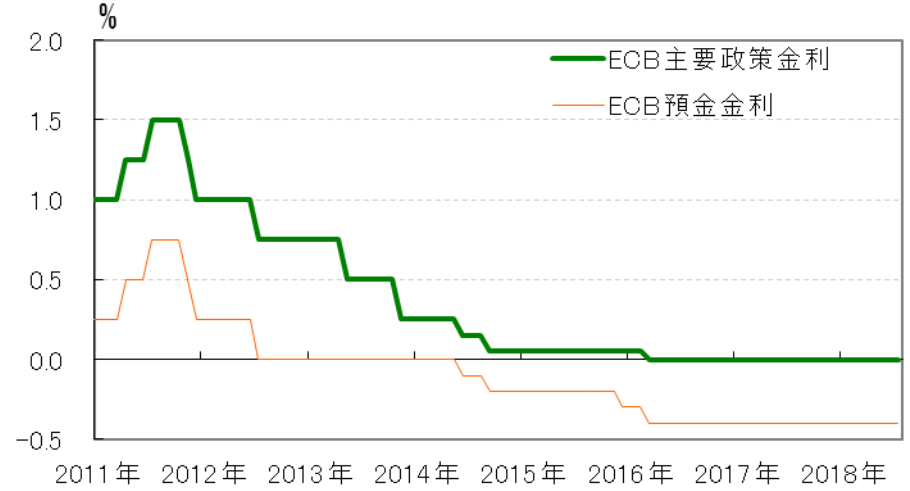
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 政策金利据置き、6月会合から目立った変更はなし
- ◆ 量的緩和の年内終了と2019年夏まで政策金利据え置きを再確認
- ◆ 保有債券の満期償還金の再投資戦略については議論せず

- ✓ 7月26日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、政策金利を据え置き、主要リファイナンス金利を0.00%、中銀預金金利は▲0.40%、中銀貸出金利は0.25%とした。
- ✓ 以下3点を再確認。①量的緩和の年内終了②10-12月の間は量的緩和規模を縮小(資産買入規模：月300億ユーロ→150億ユーロ)③2019年夏まで政策金利を据え置き。
- ✓ 景気面では、年初の景気減速を2017年の高成長からの反動であり、不確実性の高まりと一時的要因、供給側制約がこれに加わったとした。
- ✓ 物価面では、高水準の設備稼働率と労働市場の引き締めから物価上昇圧力は強まり、広がりを見せており、インフレ見通しの不確実性は後退しているとした。
- ✓ ドラギ総裁の記者会見では、保護主義のリスクにさらされている中でもユーロ圏経済の拡大に改めて自信を表明した。利上げを巡る市場の織込みについてはフォワードガイダンスに沿っているとの見方を示した。保有債券の満期償還金の再投資戦略についてはこの日は議論しなかったと述べた。
- ✓ 今回の会合では6月会合のスタンスから大きな変更はなく、政策金利も2019年夏まで据え置きとの見通しを継続した。市場で注目されていた再投資戦略への具体的な話は出ず、新たな材料には乏しい結果となった。

【ECB政策金利と預金金利】



【ECBスタッフ見通し（6月時点）】

	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	+2.1	+1.9	+1.7
3月時点の見通し	+2.4	+1.9	+1.7
HICP	+1.7	+1.7	+1.7
3月時点の見通し	+1.4	+1.4	+1.7

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。